

事業系一般廃棄物の収集運搬の新しいしくみと本格的リサイクル検討のスタート



平成17年 9月29日

会津環境保全研究会
会津若松市一般廃棄物協業組合

1. ごみの種類と処理



家庭ごみ

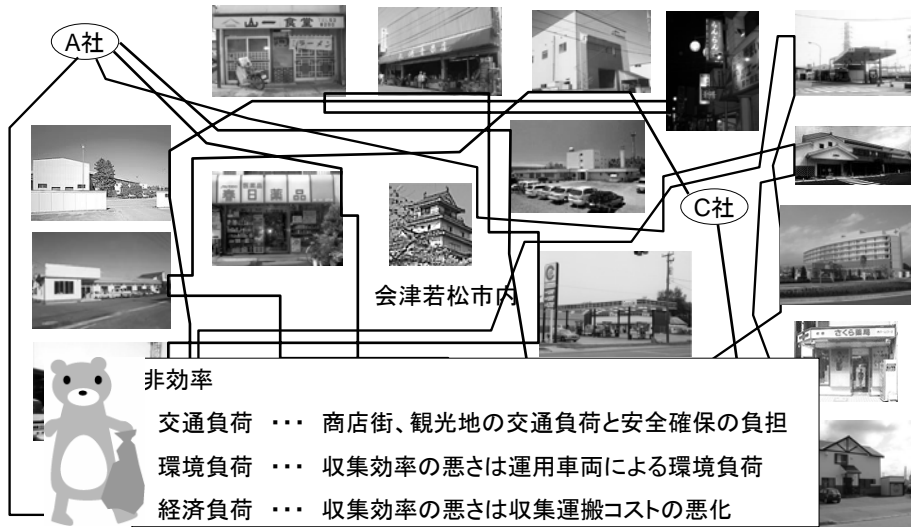
事業所ごみ(事業系一般廃棄物)

営業、事業活動によって生じたごみは、ごみの量、ごみの質に関係なく、事業所ごみ(事業系一般廃棄物)です。新聞紙、ダンボール、雑誌、空カン、紙くず、残飯などの家庭から出るようなごみも、家庭ごみとして出せません。

事業系一般廃棄物は、事業者が自己処理を行うか、市が認めた収集業者へ有料で依頼します。自己処理は適正に行う必要があり、設備投資や処理許可といった課題があり、一般的に、収集業者に依頼することが多い状況です。

2. 収集運搬事業者と排出事業者

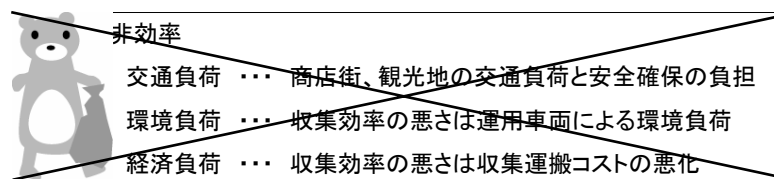
2.1 収集運搬事業者の努力と工夫



複雑に混合った動線は、どんな問題を引起すのか？

2.1 収集運搬事業者の努力と工夫

収集運搬事業者が、協力してシンプルな動線で収集運搬を行い、効率的に収集運搬したら。。。？



効率化

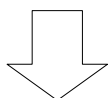
- 交通負荷の改善 …… 収集運搬車両を減らせる
- 環境負荷の改善 …… 収集運搬車両を減らせる
- 経済負荷の改善 …… 収集運搬コストを抑制し、
排出事業者のごみ処理費用を減らせる
- 利便性の向上 …… 一週間に一、二回の収集ではなく、毎日の収集も可能
決まった時間に近くの場所で待機収集も可能



2.2 排出事業者の努力と工夫

事業所ごみ(事業系一般廃棄物)を家庭ごみとして捨ててしまっている？

「月極め契約、年契約でお金を払っているのだから、ごみを出してもいいじゃない？」



事業所ごみ(事業系一般廃棄物)と家庭ごみを区別する。

ごみを減らす努力をする。

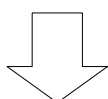
ごみを買わない、ごみから資源へ視点を変える。

2.2 排出事業者の努力と工夫

事業所ごみ(事業系一般廃棄物)と家庭ごみを区別する。

ごみを減らす努力をする。

ごみを買わない、ごみから資源へ視点を変える。



排出事業者の取組みを加速させるためのしくみ

ごみを減らせば、お得なしくみ …… 有料収集袋の導入
出した分だけ課金される。

分別、リサイクルへ。



3. 収集運搬事業者と排出事業者の連携

日本で最も安い事業所ごみの処理コストを目指し、
地域の環境、景観などを思いやり、
排出事業者の利便性の向上をはかり、
ゆとりのリソースでリサイクルを加速させる。

会津環境保全研究会

日本ではじめての連携事業の研究

会津若松市一般廃棄物協業組合

研究成果の実ビジネス展開